

# TEZUKAYAMA GALLERY

**買える!アートコレクター展 in Osaka**

# Collectors' Collective vol.7 Osaka

2023.3.24 FRI - 4.22 SAT  
TEZUKAYAMA GALLERY / VIEWING ROOM

出展コレクター  
**小田和幸** Kazuyuki Oda

出展アーティスト  
**鈴木雅明** Masaaki Suzuki / **谷野真悟** Shingo Tanino / **ミュウ・ヴェンシャン** Miao Wenxiang / **山田康平** Kohei Yamada / **Meta Flower**

出展コレクター  
**川部昭隆** Akitaka Kawabe

出展アーティスト  
**上村亮太** Lyota Uemura / **平野泰子** Yasuko Hirano / **薬師川千晴** Chiharu Yakushigawa / **山田七菜子** Nanako Yamada / **吉田卓矢** Takuya Yoshida

出展コレクター  
**嶋津充** Mitsuru Shimazu

出展アーティスト  
**國久真有** Mayu Kunihisa / **栗棟美里** Misato Kurimune / **西條茜** Akane Saijo / **ジダーノワ・アリーナ** Alina Zhdanova / **田中朝子** Asako Tanaka

## [コレコレ展について]

本展は、アーティストやギャラリー、コレクターと積極的に関わりを持ち、国内のアートマーケットに影響力を持つ西日本在住のコレクター3名によるコレクション展です。

これまでのコレクション展と大きく異なる点は、来場者が展示されている作品を「買える」ということ。各コレクターのコレクション作品や嗜好性を披露するのみならず、彼らが「今」注目している若手アーティストから人気アーティストの新作を購入出来る機会を伴うコレクション展です。

## [本展の2つの特徴]

- 1) 3名が2022年にコレクションした所有作品を展示披露すること。
- 2) 3名が2022年にコレクションした作品の作家と合わせ、2023年に注目するアーティスト総勢15名がそれぞれ新作を制作し、展示販売すること。

## [出展コレクター / 出展アーティスト]

コレクター: 小田和幸

アーティスト: 鈴木雅明 / 谷野真悟 / ミュウ・ヴェンシャン / 山田康平 / Meta Flower

コレクター: 川部昭隆

アーティスト: 上村亮太 / 平野泰子 / 薬師川千晴 / 山田七菜子 / 吉田卓矢

コレクター: 嶋津充

アーティスト: 國久真有 / 栗棟美里 / 西條茜 / ジダーノワ・アリーナ / 田中朝子

## 出展コレクター#1 小田和幸 | Kazuyuki Oda

1975年大阪生まれ。B型で長男には見えなくてよく言われます。大阪の印刷屋さん勤務。ガンダムとキン肉マンで育った幼少期を経て、高校生の時にSWATCHと運命的に出会う。以後約600本をコレクションすることに。そういえば、あの時はARTを買う感覚でSWATCH買ってます、なんて言ってたな。ARTを購入する、という行為を知ってしまったのは2017年。チアキコハラさんのキャンバス作品。世の中にはまだまだ、私の知らない作家さん、作品が溢れている。もっと知りたい、もっと出たいという思いから、週末は昼食抜きで展示巡り。「Ha,Ha,Ha」と作品が笑う作家さんより「関西の狂ったコレクター」の称号を頂くまで時間はかからなかった。冬季はダルメシアン柄を身につけて展示に行く、ごくごくフツウのアート好きです

### 推薦アーティスト



鈴木雅明 | Masaaki Suzuki

画家。1981年愛知県生まれ。名古屋造形芸術大学洋画コース卒業。愛知県立芸術大学大学院美術研究科油画専攻修了。人工の光をテーマに、都市の夜景を描く「夜景」シリーズや、暗室で限られた光源から机上の針金、球などのモチーフを描く「机上の光」シリーズを制作している。光がもたらす美しさやノスタルジーといった感情、概念としての光や、光を取り巻く環境についての考察を続けている。



谷野真悟 | Shingo Tanino

画家。1998年島根県生まれ。京都芸術大学油画コース卒業。京都芸術大学大学院美術工芸領域油画分野在学。「緊張とvoid」をテーマに、建築、家具、衣類など室内をモチーフにしたペインティングを制作している。「その場から離れることあの場へ行き着くこと」など、その移行の中にある「動き」や「ズレ」を捉えつつ制作される作品は、まるで壊れた時計の様な、過去とも現在ともとれない、針の響を持っている。



ミュウ・ヴェンジャン | Wenxiang Miao

1999年中国浙江省生まれ。武蔵野美術大学油絵学科在学。通り過ぎた自転車など、動き続ける事物が記憶になると永遠に静止する。それを図像化にし、再び物理的世界に戻させるのは、私の絵画が持つ性質である。



山田康平 | Kohei Yamada

1997年大阪府生まれ。武蔵野美術大学油絵学科油絵専攻を卒業。京都芸術大学修士課程美術工芸領域油画専攻修了。「形」、「光」など様々なテーマを掲げながら制作を行っている。



MetaFlower

ラッパー、彫刻家。1994年藤沢市出身。東京藝術大学美術学部彫刻科同修士課程修了。アンダーグラウンドという場所のルーツから感じた、社会との立ち位置や視点の差異をバックグラウンドに持つ。彫刻では文字をテーマにした作品や、爆薬にて衝撃波を起こし制作する「衝撃波彫刻」を制作している。音楽活動はイスラエルやパレスチナなど旅先で出会ったミュージシャンとのセッションや、東京をベースに日本各地でのライブ活動を行っている。公益財団法人KUMA 財団4期生(継続支援中)。

## 出展コレクター#2 川部昭隆 | Akitaka Kawabe

もともと美術館にはよく行っていました。2008年頃に小山登美夫さんが雑誌に寄稿していた「アートの目利き」という文章を読んで、見るだけではなくて買うのもありかも、と思い立ち1点買ってみました。作家さんが考え抜いて出来上がった、世界に一つしかない作品を、自分一人で楽しめるという面白さにはまってしまい、以来長く困窮しておりましたが、この面白さをもっと多くの人に知ってもらいたいと思い、2022年の9月に脱サラをして画廊を開廊いたしました。現在さらに深いアートの沼に沈んで行くところです。

### 推薦アーティスト



上村亮太 | Lyota Uemura

美術家。1959年生まれ。神戸市在住。武蔵野美術大学油画科卒業。日常生活の中で出会う景色や出来事を、日々、ドローイングに描き起こす。それは、描き続けていくうちに、変化したり、新しいものに変換されたりするが、抽象、具象の区別なく、生き生きとした作品になっていることを意識して制作している。



平野泰子 | Yasuko Hirano

1985年富山県生まれ、神奈川県在住。京都精華大学芸術学部造形学科洋画専攻を卒業。作品の根底には「風景」があるが、絵の具を幾層にも塗り重ねる行為によって生まれる空間や現象に注目するようになる。制作の中から生まれる眼差しや不確かなものに強度を持たせるために制作している。



薬師千千晴 | Chiharu Yakushigawa

現代美術作家。1989年生まれ。京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了。「対」の関係性を主題とし、様々な方法で独自の絵画を展開。右手と左手に直接絵具をつけて描く《右手と左手》シリーズでは自ら調合した顔料絵具で描く事で個と個の互いの混じり合いを表現、また、SNSの発達した社会における自己と他者の関係性について、相手の領域に入る前の合図であるノックという行為に着目し制作した《ノック》シリーズを展開するなど、作品ごとに様々な表現方法を選択し、発表を続けている。



山田七菜子 | Nanako Yamada

画家。1978年京都府生まれ。絵について言葉にしようとする度に困惑し、目の前が真っ暗になるような、喉が詰まるような感覚を覚える。しかし、敢えて言葉にするならば、山や海や水辺の風景など、いわゆる地形を想起させる描写に、顔のような人体の形を託して描くことを続けている。(人体の形象に風景に属する形象を託す場合もある。) 絵画空間の外で言語化することに対して躊躇してしまいが、使い古された方法であろうと、私が守り通すことを約束したイメージのために、今もこうして筆致を重ねているのかも知れない。



吉田卓矢 | Takuya Yoshida

画家。1986年東京都生まれ、北海道在住。17歳から11年間アメリカに渡米、その間ニューヨークとニューハンプシャー州で絵画や彫刻を学ぶ。Plymouth State University BFA PaintingとNew York Studio School MFA Paintingを取得。国内外で積極的にアート活動を行っている。北海道移住後に発表された戸外制作を中心に描かれた牧歌的自然風景、本来そこにはないはずの生きものたちと鮮やかな色彩が融合された異世界の様相は、鑑賞者をピースフルな世界へ誘う。

出展コレクター#3 嶋津充 | Mitsuru Shimazu

昨年完全リタイア後に美術検定1級を取得してアートナビゲーターになりました。2006年にオンラインで蜷川実花さんの写真作品を購入したのが現代美術蒐集の第一歩です。そのため写真作品が比較的多くなっています。また、最近は映像作品も蒐集しています。作品を通して世界・社会の動きを知ることができるのが現代美術の醍醐味だと思っています。新しい目が見る世界を知りたくて芸大の卒展などで作品を購入しています。コレクター集団の“naniwart(旧関西ワンピース倶楽部)”と寄贈活動を行う“美術館にアートを送る会”の事務局を務めています。

推薦アーティスト



國久真有 | Mayu Kunihisa

大阪生まれ。関西を中心に活動。ロンドン芸術大学セントラルセントマーチンズで学び、神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻博士後期課程満期退学。四角いキャンバスに対し自身を軸にした身体から現れる円を描いている。自身の存在が画面から無くなる方法として、光の表現をする。



栗棟美里 | Misato Kurimune

現代美術家。1988年兵庫県神戸市出身。2013年京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程版画分野修了。現在、京都精華大学芸術学部にて後進の育成に努める。自らが撮影した写真を支持体とし、その上から描画を施すミクストメディアの手法で、一貫して美・存在・時間・生命といったものの本質を問い続け、国内外での発表を多数行う。近年は、インターネットを介した情報過多社会の中で「見る」という行為の本質とは何かをコンセプトに制作を行っている。



西條茜 | Akane Saijo

1989年兵庫県生まれ。2014年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻陶磁器分野修了。2013年ロンドンロイヤルカレッジオブアートへ交換留学。2020年度京都市芸術文化特別奨励者認定者。陶磁器素材の特徴ともいえる内部の空洞と表面の艶やかな質感から「身体性」をキーワードに、陶彫作品及びそれらに息や声を吹き込むサウンドパフォーマンスを発表している。また一方で世界各地にある窯元などに滞在し、地元の伝説や史実に基づいた作品も制作している。



ジダーノフ・アリーナ | Alina Zhdanova

ロシア生まれ、日本育ち。現在は京都を拠点に活動。映像作家として国内外の映画祭や展覧会などに出演し、キュレーターとしても活動する。「忘却」をテーマに様々な国や街でリサーチを行い、自分の記憶や他者が話す記憶を使って、鑑賞者の記憶に語りかけるような作品をつくる。



田中朝子 | Asako Tanaka

1972年大阪府生まれ。2003年京都市芸術大学美術研究科博士(後期)課程版画専攻満期退学。日常的な視点から捉えられた些細な錯覚を写真・版画や立体作品、ときにインスタレーションを伴い表現する。展覧会の他、公共空間での作品設置や「本」をテーマとした作品の制作、アートブックの編集・出版など、「美術作品」の枠組みに捕われぬ制作活動を行っている。

展覧会情報 | Exhibition Info

買える! アートコレクター展 in Osaka  
Collectors' Collective vol.7 Osaka  
2023.3.24 [金] - 4.22 [土]

[出展コレクター]

小田和幸 / 川部昭隆 / 嶋津充

[出展アーティスト]

鈴木雅明 / 谷野真悟 / ミュウ ヴェンジャン / 山田康平 / MetaFlower  
上村亮太 / 平野泰子 / 薬師川千晴 / 山田七菜子 / 吉田卓矢  
國久真有 / 栗棟美里 / 西條茜 / ジダーノフ・アリーナ / 田中朝子

[企画]

Collectors' Collective

[営業時間]

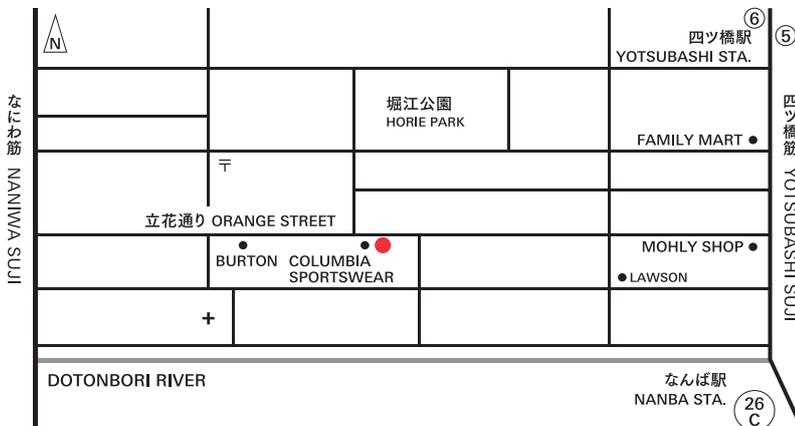
火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日

[お問合せ]

info@tezukayama-g.com / 岡田 (TEZUKAYAMA GALLERY)

[同時開催 / Main Gallery Exhibition]

住吉明子 個展「Piece of a mountain」



[アクセス/ACCESS]

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F  
Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN  
t: +81 6 6534 3993 | f: +81 6 6534 3994 | e: info@tezukayama-g.com